

賃貸名人の通信を WindowsFireWall に許可させるための設定 (SQL Server 2005)

〔目次〕

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1. Windows XP SP2 以降の場合 | 1 |
| 2. Windwos 7 32bit／64bit の場合 | 8 |

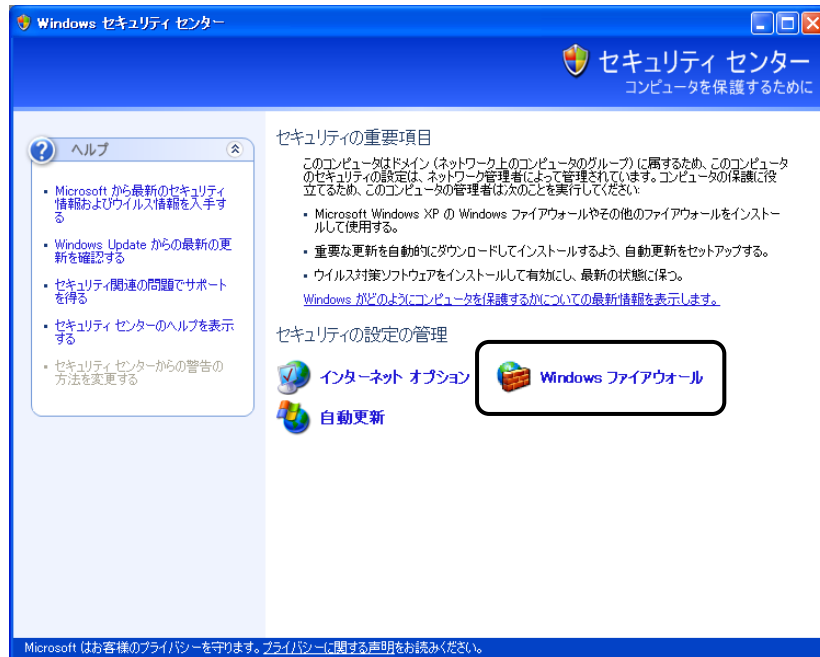
1. Windows XP SP2 以降の場合

※ 以下の手順はサーバ機で Windows ファイアウォールが「有効」に設定されている場合にサーバ機にて行う必要があります。クライアントマシンで Windows ファイアウォールをご利用の場合であっても、クライアント側での設定は不要です。

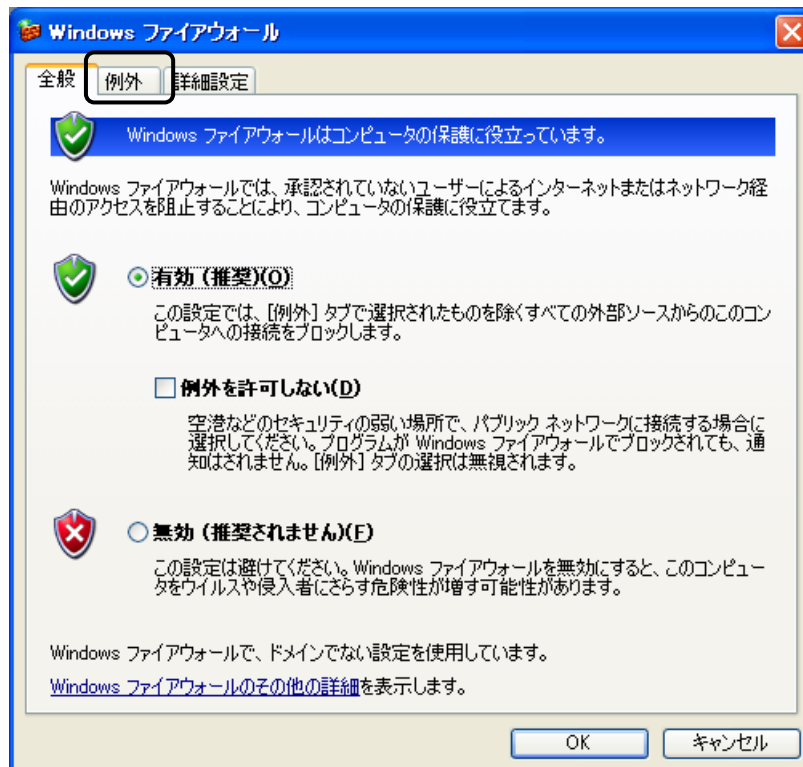
[コントロールパネル] → [セキュリティセンター] を開きます。



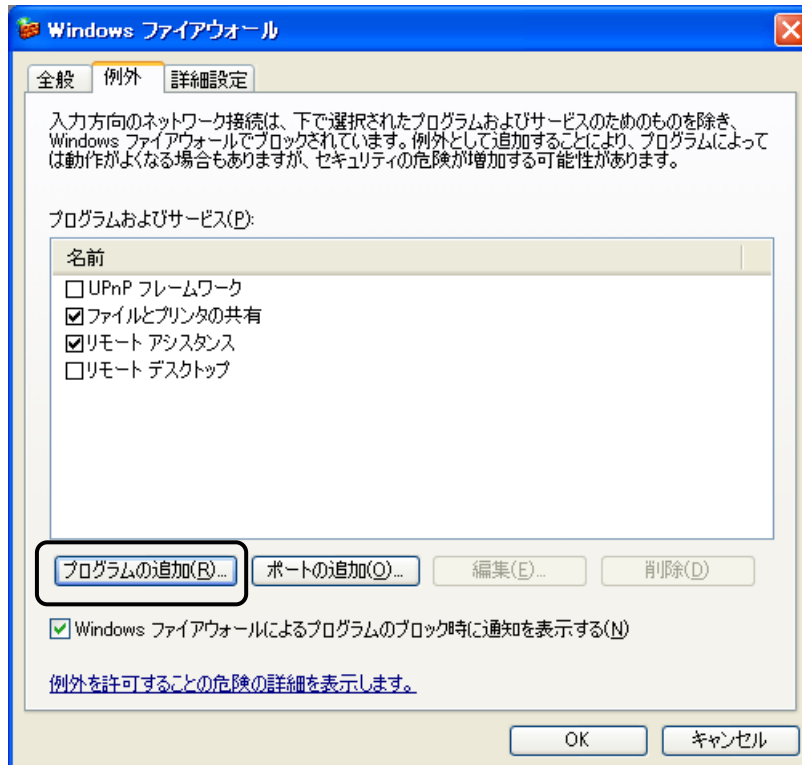
次のウィンドウが展開しますので「Windows ファイアウォール」をクリックします。



次のウィンドウが展開しますので「例外」タブを開きます。



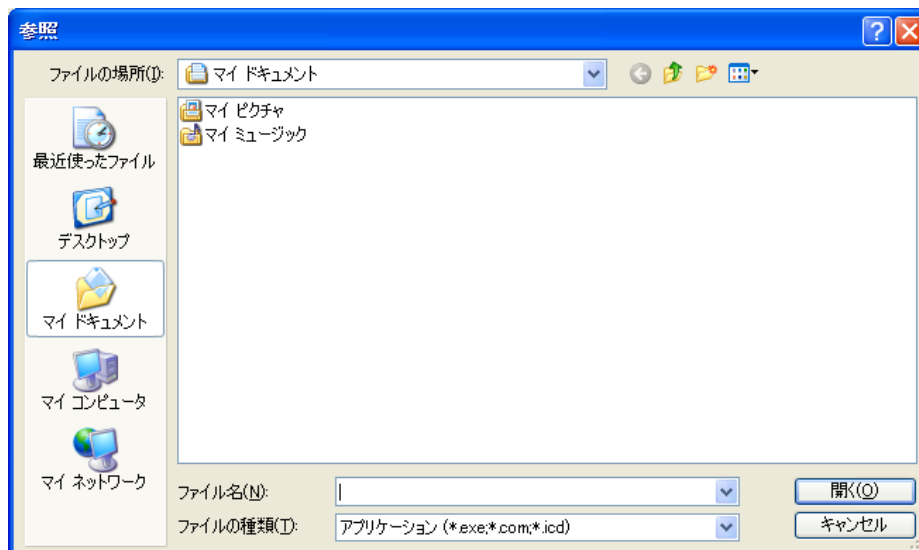
[例外] タブにて [プログラムの追加 (R)] ボタンを押します。



① まず sqlbrowser.exe を例外に設定します。[参照 (B)] ボタンを押します。

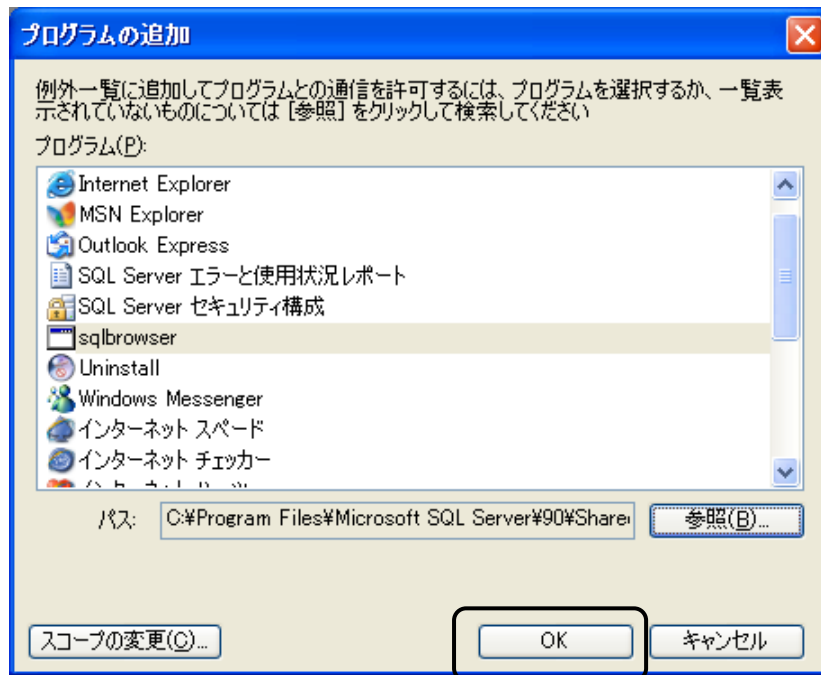


「参照」ウィンドウが展開します。



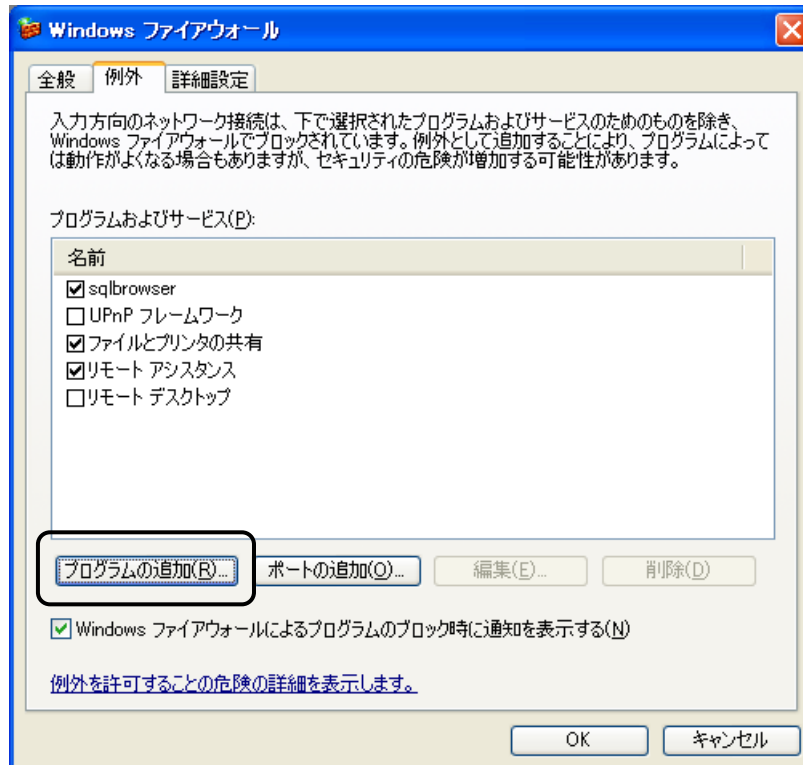
ここで、[ローカルディスク (C)] → [Program Files] → [Microsoft SQL Server] → [90] → [Shared] → [sqlbrowser.exe] を指定します。

プログラム (P) の一覧に「sqlbrowser」が並びます。[OK] ボタンで決定してください。



※ [OK] ボタンを押した際に、既に登録済みであるメッセージが出ましたら、sqlbrowser.exe の登録は不要です。[キャンセル] ボタンを押し、次の sqlservr.exe の設定に進んでください。

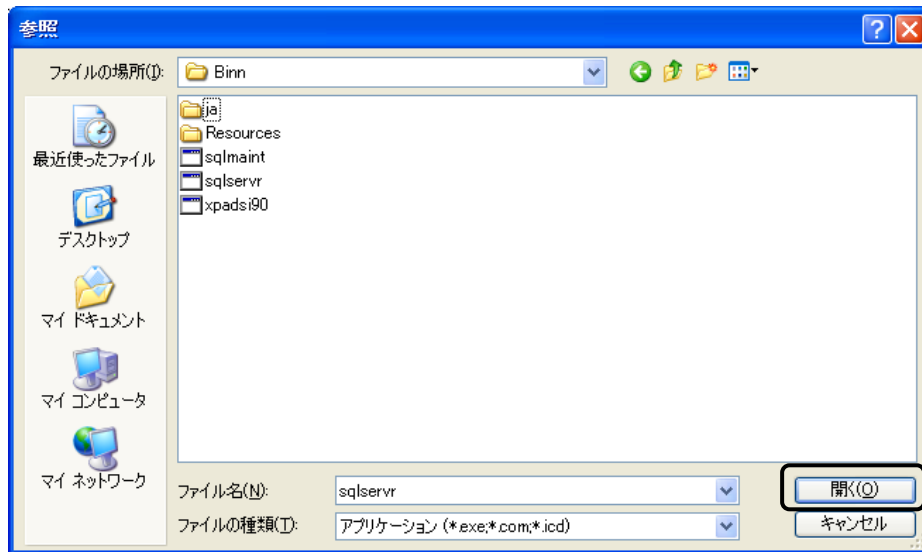
② 続いて sqlservr.exe を例外に設定します。[プログラムの追加 (R)] ボタンを押します。



「プログラムの追加」ウィンドウが展開します。[参照 (B)] ボタンを押します。



「参照」ウィンドウが展開します。



ここで、[ローカルディスク (C)] → [Program Files] → [Microsoft SQL Server] → [MSSQL.1] → [MSSQL] → [Binn] → [sqlservr.exe] を指定します。

プログラム (P) の一覧に「sqlservr」が並びます。[OK] ボタンで決定してください。



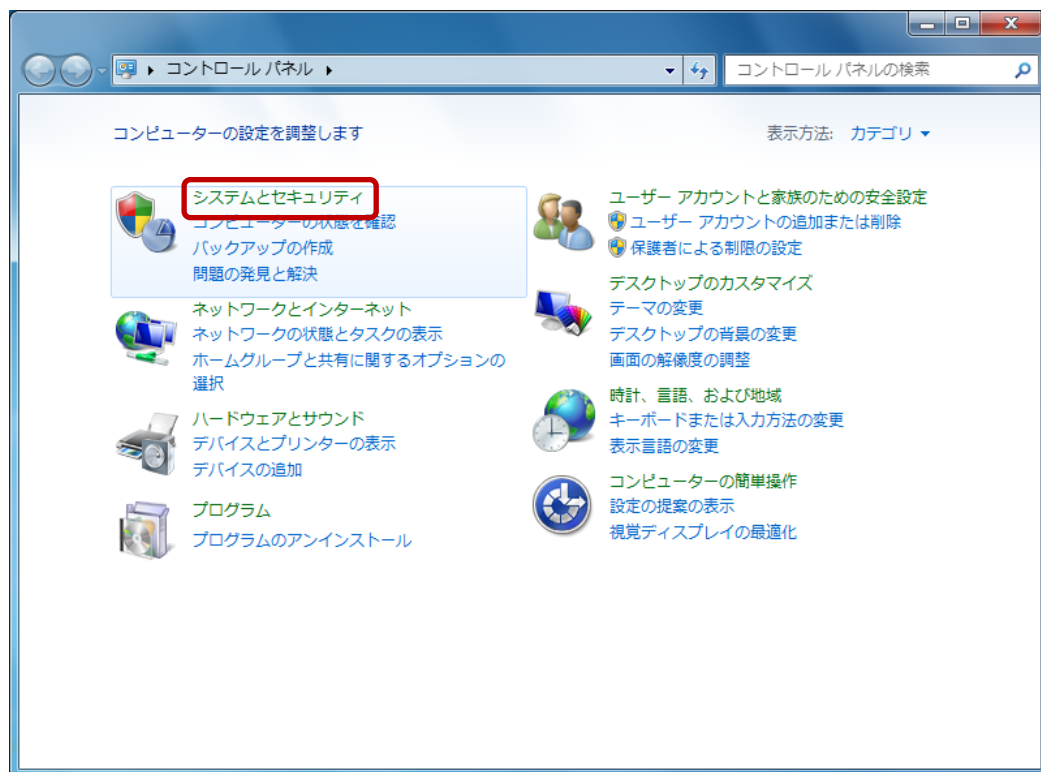
※ [OK] ボタンを押した際に、既に登録済みであるメッセージが出ましたら、sqlservr.exe の登録は不要です。[キャンセル] ボタンを押し、設定を完了してください。

以上で、設定が完了です。クライアントからの接続をご確認ください。

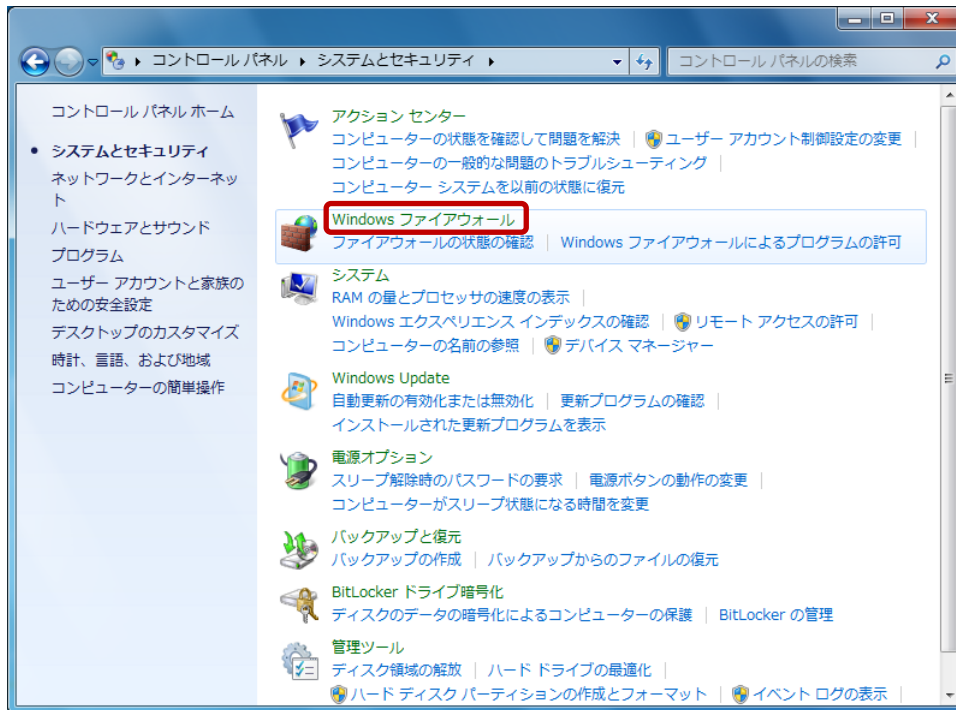
2. Windwos 7 32bit／64bit の場合

※以下の手順は、Windows ファイアウォールが「有効」に設定されているサーバ(親機)を対象としています。クライアント(子機)における設定は不要です。

1. [スタート] ボタン→ [コントロール パネル] をクリックします。
2. [システムとセキュリティ] をクリックします。



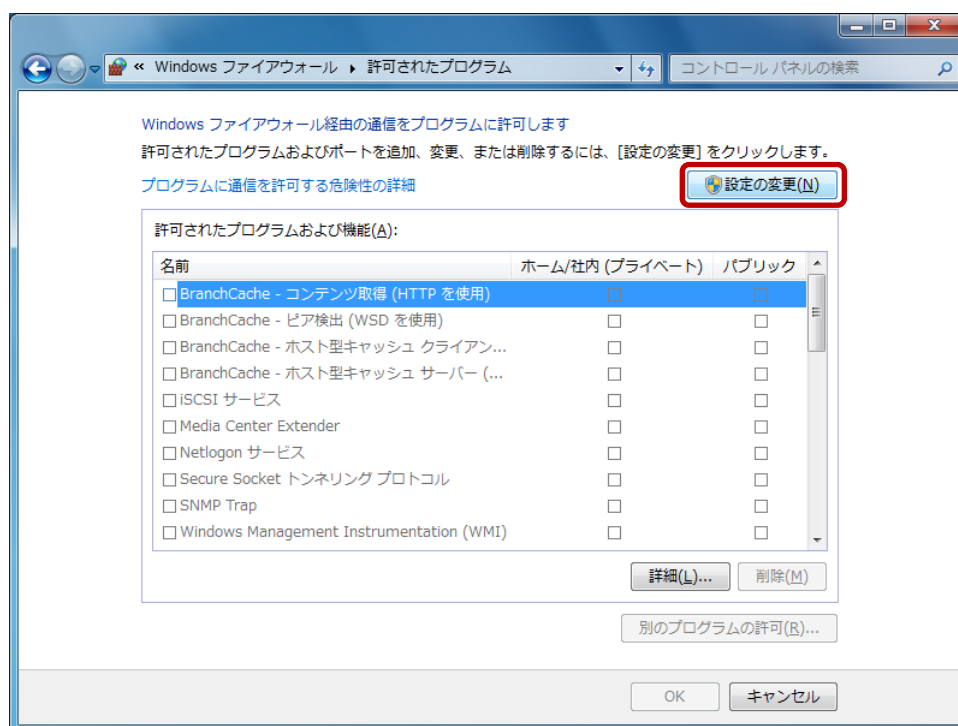
3. [Windows ファイアウォール] をクリックします。



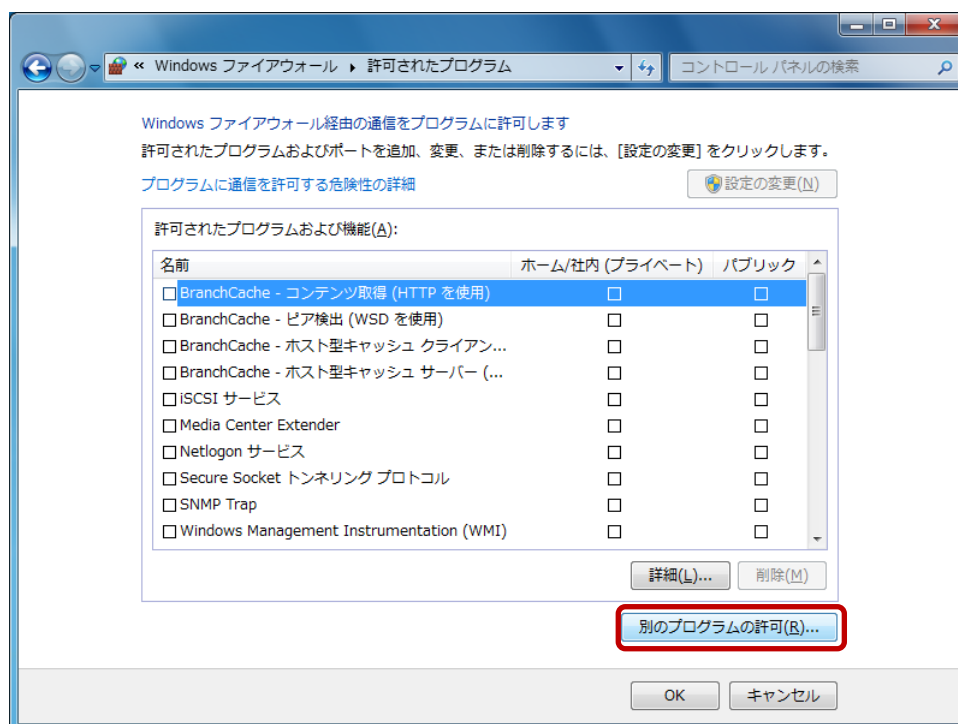
4. [Windows ファイアウォールを介したプログラムまたは機能を許可する] をクリックします。



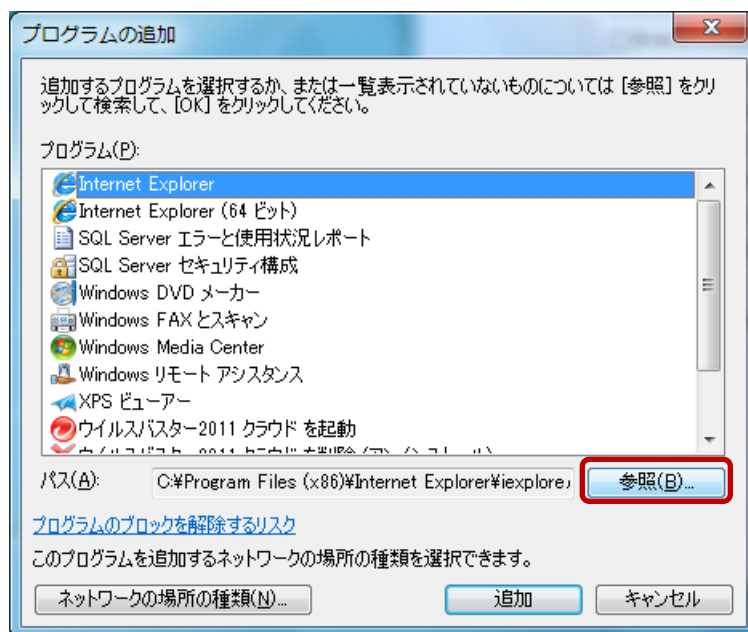
5. 「設定の変更」 ボタンをクリックします。



6. 「別のプログラムの許可」 ボタンをクリックします。

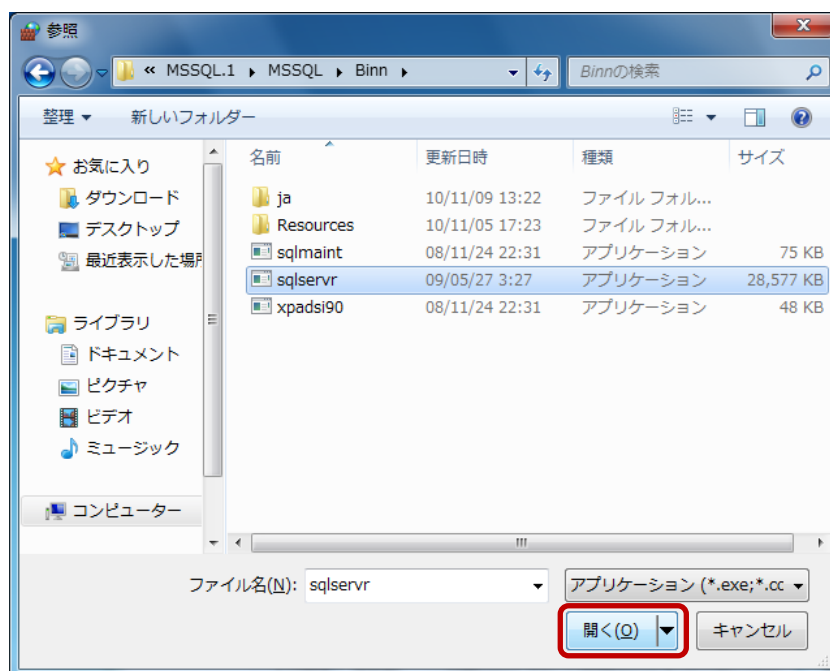


7. [プログラムの追加] ダイアログで、[参照] ボタンをクリックします。

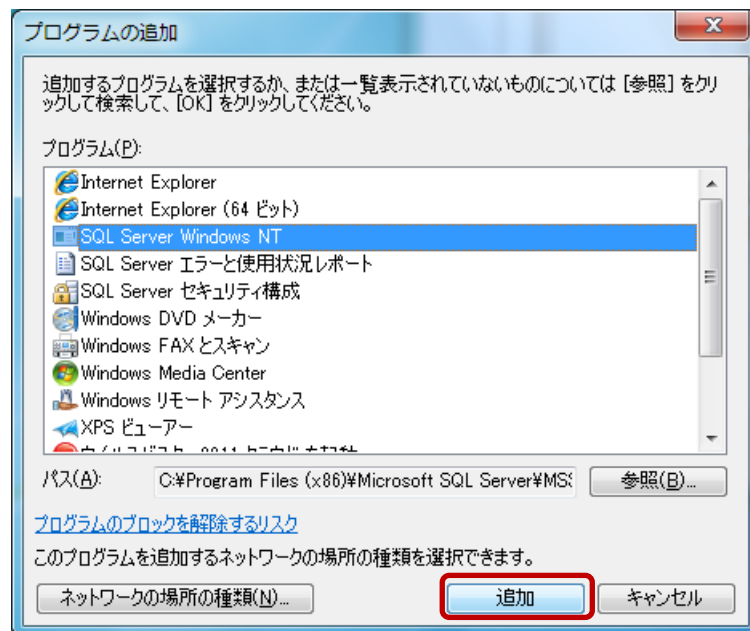


8. [参照] ダイアログで、[コンピューター] → [ローカル ディスク (C:)] → [Program Files] → [Microsoft SQL Server] → [MSSQL.1] → [MSSQL] → [Binn] → [sqlservr.exe] を選択し、[開く] ボタンをクリックします。

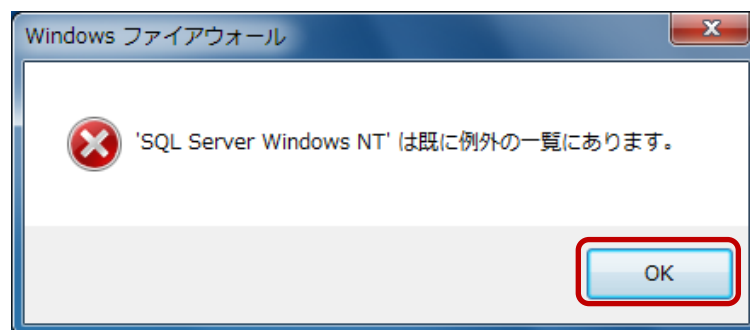
※64 ビット OS の場合は、[コンピューター] → [ローカル ディスク (C:)] → [Program Files (x86)] → [Microsoft SQL Server] → [MSSQL.1] → [MSSQL] → [Binn] → [sqlservr.exe] となります。



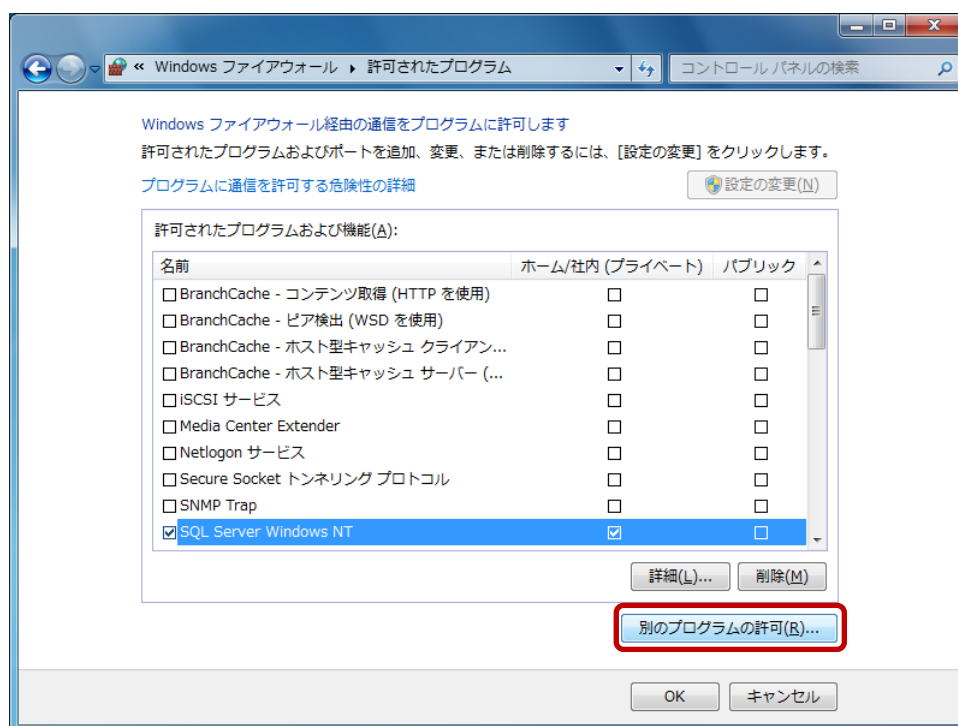
9. 「プログラムの追加」ダイアログで、「SQL Server Windows NT」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



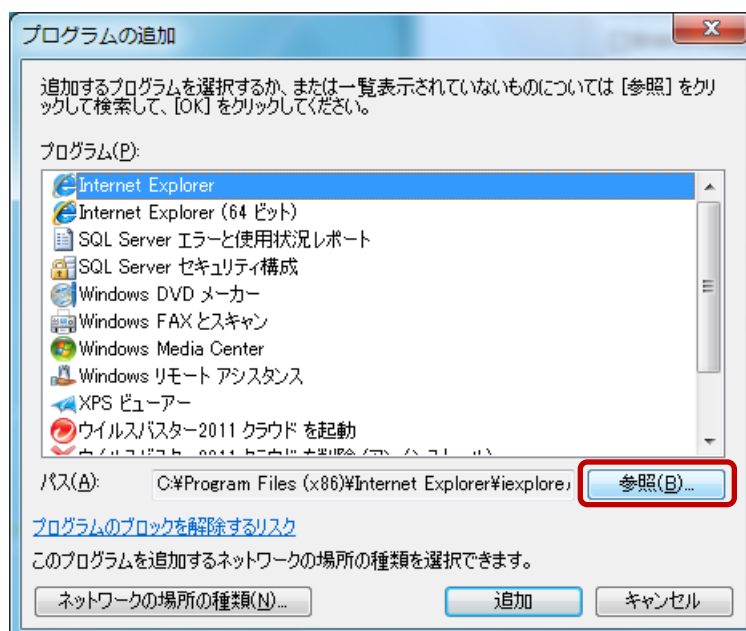
※以下のメッセージが表示された場合は、「SQL Server Windows NT」に対する設定は不要です。[OK] ボタン→「プログラムの追加」ダイアログで、[キャンセル] ボタンをクリックします。



10. [別のプログラムの許可] ボタンをクリックします。

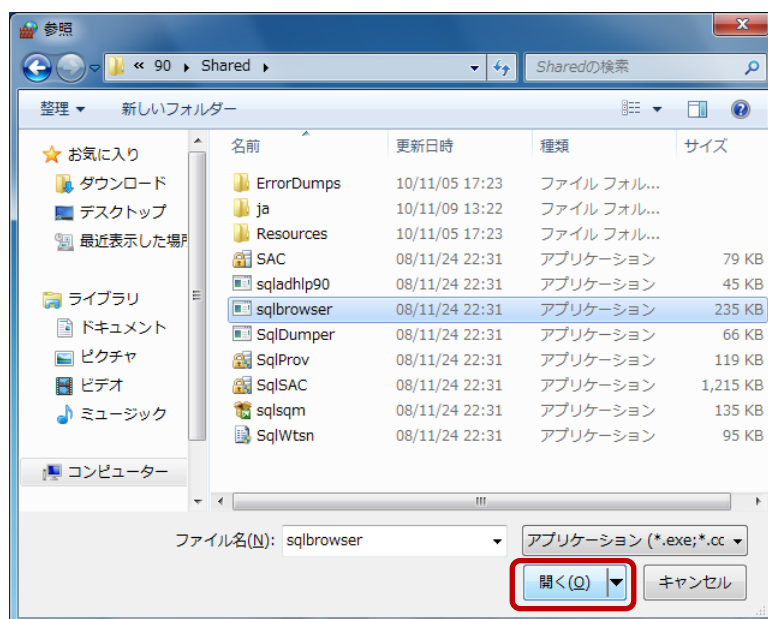


11. [プログラムの追加] ダイアログで、[参照] ボタンをクリックします。

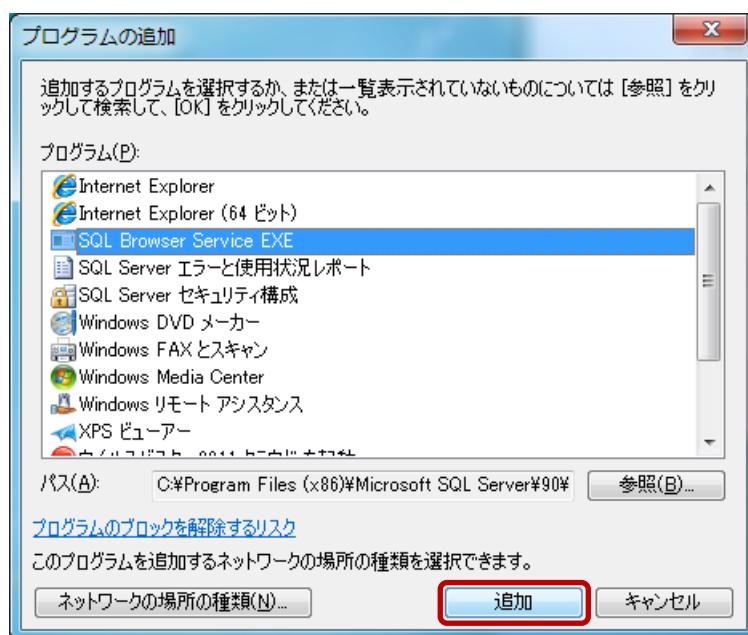


12. [参照] ダイアログで、[コンピューター] → [ローカル ディスク(C:)] → [Program Files] → [Microsoft SQL Server] → [90] → [Shared] → [sqlbrowser.exe] を選択し、[開く] ボタンをクリックします。

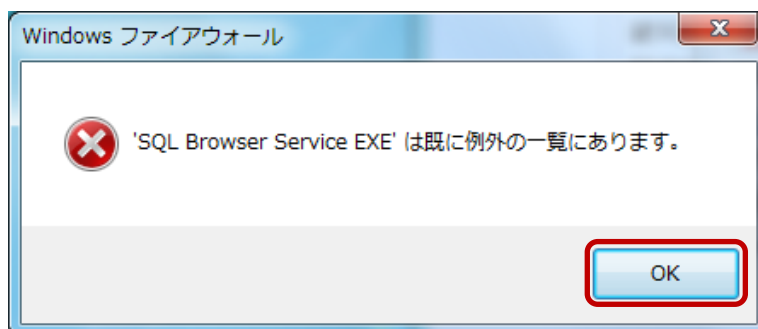
※64 ビット OS の場合は、[コンピューター] → [ローカル ディスク(C:)] → [Program Files (x86)] → [Microsoft SQL Server] → [90] → [Shared] → [sqlbrowser.exe] となります。



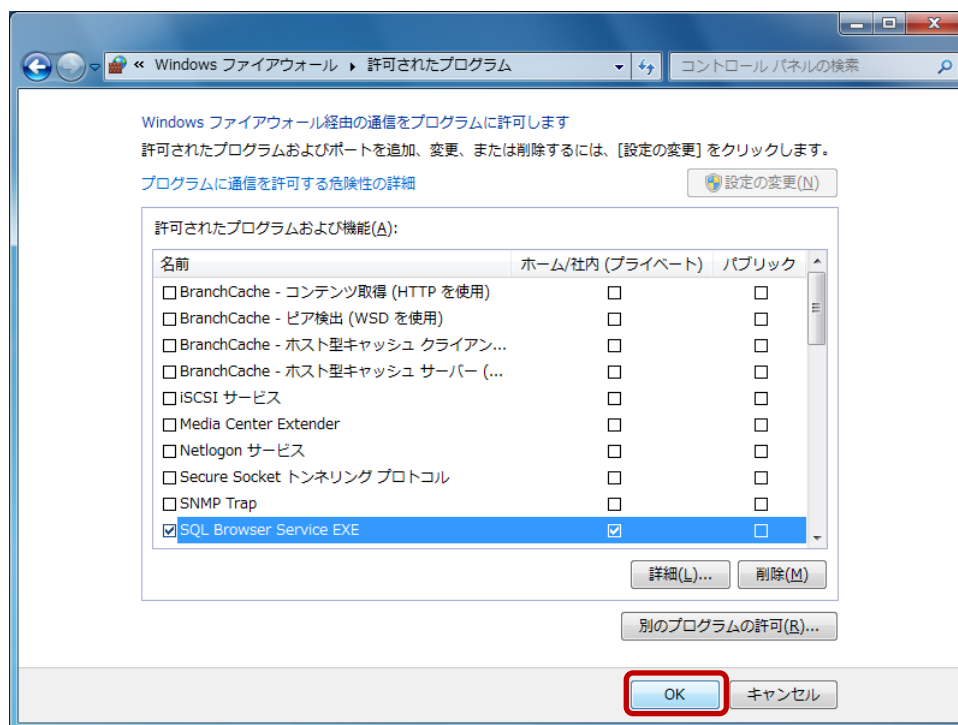
13. [プログラムの追加] ダイアログで、「SQL Browser Service EXE」を選択し、[追加] ボタンをクリックします。



※以下のメッセージが表示された場合は、「SQL Browser Service EXE」に対する設定は不要です。[OK] ボタン→ [プログラムの追加] ダイアログで、[キャンセル] ボタンをクリックします。



14. [OK] ボタンをクリックします。



以上で設定は完了です。クライアントからの接続をご確認ください。